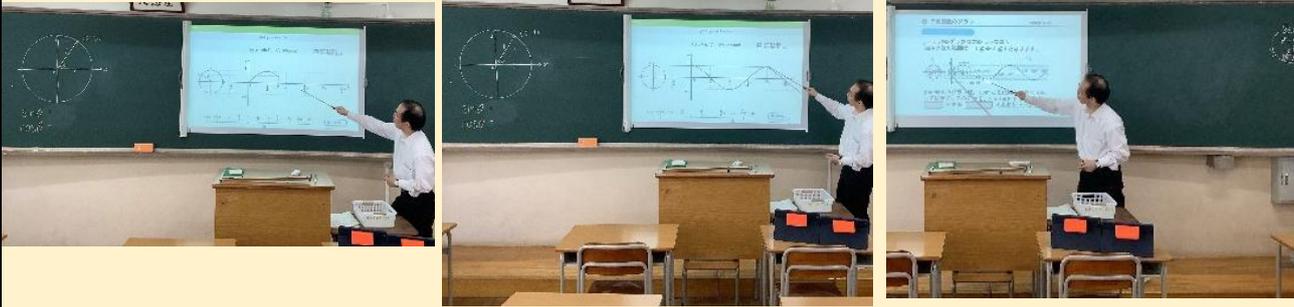


事例名			
PowerPointと動画を活用した三角関数の授業実践			
校種・学年	高等学校・通信制(単位制のため、学年は設定されていない)		
教科・科目・単元・題材	数学科・数学Ⅱ・三角関数・三角関数のグラフ		
学校名〈任意〉	—	事例報告者氏名〈任意〉	—
機能名(アプリ名)	PowerPoint、二次元コードリーダー		
ICT活用のポイント			
<p>三角関数のグラフは単位円と連動させて描くのが一般的である。教科書においてもグラフの真横に単位円があるが、紙面だけでは連動している様子が見えにくい。そこで、教科書の二次元コードからアクセスできる機能を活用し、連動の様子が見えるようにした。</p>			
活用場面			
<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数のグラフ($y=\sin\theta$、$y=\cos\theta$、$y=\tan\theta$) ・時間短縮および生徒の思考時間を確保するためにPowerPointを活用した授業展開を基本とした(写真右側を参照のこと)。適宜、黒板にも図や公式を描くなどして、デジタルとアナログのハイブリッド授業を目指している。(写真左の黒板左側を参照のこと) 			
			
三角関数のグラフ(描画中)	三角関数のグラフ(描画後)	PowerPointの利用	
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>1時間のうちに指導しなければならない量が多いため、授業のスピードをかなり速める必要がある。一方で、文字だけでなく視覚情報を増やして生徒に数学的内容を理解させる必要がある。その両立のためにICT活用は必須である。なお、通信制において、生徒は自分のタブレットを持っていないため、生徒が中心となってタブレットを活用する授業は物理的に展開できない。</p>			